



# 英国のEU離脱をめぐる英国情勢

## 英議会の動き

### 1 離脱期限延期をめぐる動き

- 英議会で、10/19までにEUとの間で新たな離脱協定案が得られない場合、明年1/31までの離脱期限延期をEUに要請するよう政府に義務づける「**離脱期限延期法**」が成立。
- ジョンソン首相は、早期総選挙実施を試みるも、**議会承認を得られず**。

(注:英国では、首相に解散権限がなく、下院定数2/3の賛成が必要。)

### 2 議会閉会をめぐる動き

- ジョンソン首相は、議会を閉会(9/10-10/14)するも、英最高裁は、**議会閉会は違法・無効**と判決(9/24)。
- 議会は、9/25に再開。野党(労働党、自民党、SNP等)は、首相への**辞任圧力**を強化。

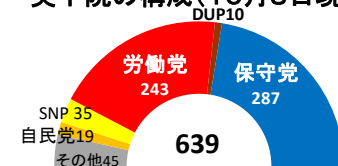
### 3 野党の方針

- 総選挙を経て政権党になる場合について、**労働党**は、**自らの離脱案か残留かを問う再国民投票**を行う方針。**自民党**は、**離脱通知を撤回**する方針。



総選挙実施を野党に強く迫る  
ジョンソン首相

英下院の構成(10月8日現在)



※議席数は650。可決には過半数が必要。  
※採決に参加しない議長(1名(元保守党))・副議長(保守党1名、労働党2名)、登院しないシン・フェイン党(7名)を除く。

## バックストップ代替案

- 10/2、英国はEUに、バックストップの代替案を提出。

### 【代替案のポイント】

- ✓ 2020年12月末日までの移行期間の後、英国は、北アイルランドも含め、**全体としてEU関税同盟から離脱**。
- ✓ 税関検査は、**国境検査を避けるため簡素化**(書類手続は電子的に行い、ごく少数の物理的検査は取引業者の施設又はサプライチェーンの他の場所で実施等)。移行期間終了前に、関税取決め実施の詳細規則を設定する。
- ✓ 南北アイルランドにおいて、**物品貿易に係る規制を同一にする全島規制区域を創設**。導入には、**北アイルランド議会・政府の同意**が必要。移行期間終了前及び4年毎に継続の有無を問う。

- 英EU双方は、欧州理事会(10/17-18)を見据えて**協議を継続**する予定。
- EU側の反応:「前向きな前進があるが、バックストップのガバナンスについて問題点が存在。関税に懸念。」(ユンカー欧州委員長),「交渉には応じるが、依然納得していない。」(トウスク欧州理事会議長)。